

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年7月29日

計画の名称	3 もりおか交通戦略の推進		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	盛岡市
計画の目標			

I 歩いて楽しむ中心市街地の形成
 中心市街地における回遊性及びアクセス性の向上を図り、歩行者や自転車が安心して快適に移動することができる賑わいのある空間を創出する。
 II 公共交通軸の充実・強化
 各地域と中心市街地を結ぶ公共交通軸を充実・強化し、自家用車から公共交通への転換を促進する。

計画の成果目標 (定量的指標)	・中心市街地を快適に移動できると感じる人の割合を現状から約4%増加させる。 ・中心市街地への通勤における自家用車の利用割合を約4%削減させる。		
-----------------	----------------------------------------------------------------------------	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 中心市街地において歩行者、自転車利用者の意識を調査する (アンケート調査)	46.7%	49.0%	51.0%	もりおか交通戦略における目標値 (H30) を基に設定
② 事業所従業者への実態調査を実施し推計値を求める (アンケート調査又は全国PT調査への追加調査)	38.9%	37.0%	35.0%	
③				

全体事業費	合計 (A+B+C)	4,288百万円 4,051百万円	A	4,203百万円 3,972百万円	B	0百万円 0百万円	C	85百万円 79百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.0% 2.0%
-------	------------	----------------------	---	----------------------	---	--------------	---	----------------	---------------------------	--------------

248

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
課内組織にて事後評価を実施	平成28年7月
	公表の方法
	ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業												全体事業費 (百万円)	備考				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)						
											H22	H23	H24	H25	H26		
3-A-1	街路	一般	盛岡市	直接	-	S街路	改築	梨木町上米内線 (II)	現道拡幅 L=0.68km 現道拡幅 L=0.68km	盛岡市						2,247	
																2,155	
3-A-2	街路	一般	盛岡市	直接	-	S街路	改築	盛岡駅南大橋線 (大沢川原)	現道拡幅 L=0.22km 現道拡幅 L=0.22km	盛岡市						908	
																794	
3-A-3	街路	一般	盛岡市	直接	-	S街路	改築	南大通南大橋線 (神子田I)	現道拡幅 L=0.30km 現道拡幅 L=0.30km	盛岡市						113	
																88	
3-A-4	街路	一般	盛岡市	直接	-	S街路	改築	明治橋大沢川原線	現道拡幅 L=0.16km 現道拡幅 L=0.16km	盛岡市						908	
																908	
3-A-5	施設整備	一般	盛岡市	直接	-	S街路	改築	自転車走行空間整備	L=2.4km L=576.8m	盛岡市						27	
																27	
											合計	4,203 3,972					

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
												合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業														上段：計画	下段：実施			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
3-C-1	計画・調査	一般	盛岡市	直接	—		計画調査	新駅整備関連交通広場等計画調査	新駅・交通広場関連の調査設計	盛岡市						8		
									新駅・交通広場関連の調査設計							8		
3-C-6	社会実験	一般	盛岡市	直接	—		社会実験	バス運行社会実験(松園支線バス)	ゾーンバスの改良	盛岡市						10		
									ゾーンバスの改良							9		
3-C-8	施設整備	一般	盛岡市	直接	—		公共交通(バス)	バス停整備(ハイグレード)	バス停の整備6箇所	盛岡市						9		
									バス停の整備4箇所							7		
3-C-11	社会実験	一般	盛岡市	直接	—		社会実験	交差点改善社会実験(JR盛岡駅前)	交通円滑化の実験	盛岡市						4		
									交通円滑化の実験							3		
3-C-13	施設整備	一般	盛岡市	直接	—		都市交通	自転車駐車場の整備	5箇所	盛岡市						41		
									3箇所							41		
3-C-14	社会実験	一般	盛岡市	直接	—		MM	モビリティ・マネジメント	公共交通軸沿線の市民対象	盛岡市						8		
									公共交通軸沿線の市民対象							8		
3-C-15	計画・調査	一般	盛岡市	直接	—		計画調査	交通戦略の効果の検証	アンケート調査, PT調査	盛岡市						2		
									アンケート調査							1		
3-C-16	社会実験	一般	盛岡市	直接	—		社会実験	JR山田線利用促進社会実験	駅利用環境整備	盛岡市						3		
									駅利用環境整備							2		
												合計					85	
																	79	

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考
3-C-1	各地域と中心市街地を結ぶ公共交通軸を充実・強化し、自家用車から公共交通への転換を促進する。													
3-C-6	街路事業(3-A-1)と一体的に、効率的、効果的なバス運行に関する社会実験を実施し、自家用車から公共交通への転換を検証する。													
3-C-8	街路事業(3-A-1~4)と一体的に整備し、自家用車から公共交通への転換を促進する。													
3-C-11	街路事業(3-A-2)と一体的に、中心市街地の回遊性向上に資する盛岡駅前の交通処理を検証するため、盛岡駅周辺の交通実態の調査及び改善計画の策定を行い、その効果を検証する。													
3-C-13	街路事業(3-A-2,4)や公共交通軸の利便性の強化と一体的に、自転車駐車環境を改善し、自転車による回遊性の向上を図る。													
3-C-14	街路事業(3-A-1~4)と一体的に地球環境や公共交通利用者に望ましい交通行動に向けて、自発的な行動の変容を促す啓発活動を実施。													
3-C-15	街路事業(3-A-1~4)における計画の効果的な・効率的な展開を図るため、中間時及び目標時における評価を行うために調査を実施する。													
3-C-16	街路事業(3-A-1)と一体的に、効率的、効果的な鉄道運行に関する社会実験を実施し、自家用車から公共交通への転換を検証する。													

その他関連する事業															
計画等の名称		〇〇市における循環のみちの実現										上段：計画	下段：実施		
事業種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)						市町村名						全体事業費 (百万円)	備考
A'-1-1	〇〇市							〇〇市							
A'-1-2	〇〇市							〇〇市							
C'-1-1	〇〇市							〇〇市							
全体事業費	合計 (A'+B'+C')	0百万円	A'	0百万円	B'	0百万円	C'	0百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))					0百万円	
		0百万円		0百万円		0百万円		0百万円						0百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

**I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況**

- ・ 中心市街地の自転車走行空間の一部が整備されたことにより、歩行者と自転車の通行空間の分離が図られ、移動の快適性が向上した。
- ・ バス停整備、鉄道駅利用環境整備、自転車駐輪場整備などにより公共交通利用環境の向上が図られ、また、公共交通利用促進に係る啓蒙活動により、公共交通利用への意識の転換を図り、自家用車から別の交通手段への転換が図られた。

II 定量的指標の達成状況	指標①（中心市街地を快適に移動できると感じる人の割合を現状から約4%増加させる）	最終目標値	51%	目標値と実績値に差が出た要因	自転車走行空間の整備を行ったことにより、歩行者と自転車の通行空間の分離が図られたことで目標値を上回った。
			アンケート調査		
	最終実績値	56%	目標値と実績値に差が出た要因	自転車走行空間の整備を行ったことにより、歩行者と自転車の通行空間の分離が図られたことで目標値を上回った。	
		アンケート調査			
	指標②（中心市街地への通勤における自家用車の利用割合を約4%削減させる）	最終目標値	35%	目標値と実績値に差が出た要因	公共交通利用環境が向上したことにより、自家用車から公共交通への転換が図られたことで目標値を上回った。
			アンケート調査		
最終実績値	34%	目標値と実績値に差が出た要因	公共交通利用環境が向上したことにより、自家用車から公共交通への転換が図られたことで目標値を上回った。		
	アンケート調査				
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因		
	最終実績値				

**III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)**

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・ 引続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

(参考様式3)

(参考図面) 活力創出基盤整備

計画の名称	3 もりおか交通戦略の推進	交付対象	盛岡市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

